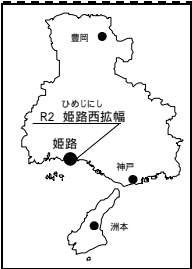
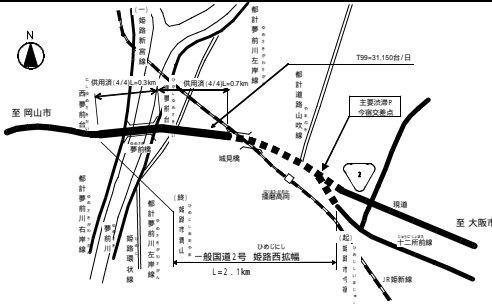


## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名：国道2号道路改築事業 姫路西拡幅		事業区分：一般国道	事業主体：兵庫県
起終点：自：兵庫県姫路市今宿 至：兵庫県姫路市青山		延長：2.12km	
事業概要：一般国道2号は、大阪府大阪市を起点とし、福岡県北九州市に至る延長約678kmの幹線道路である。姫路西拡幅は、交通量の増加に伴う慢性的な渋滞が著しい兵庫県姫路市今宿から姫路市青山に至る区間において、渋滞を解消し安全・円滑な交通の確保を図ることを目的とした延長2.12kmの4車線道路である。			
H3年度事業化	S21年度都市計画決定 (S37年度変更)	H3年度用地着手	H3年度工事着手
全体事業費	148 億円	事業進捗率	83%
計画交通量	39,000台/日		
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体)	総費用 (残事業)/(事業全体) 25/182億円 (事業費：23/180億円 維持管理費：2 /2億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 551/551億円 (走行時間短縮便益：535/ 535億円 走行費用減少便益：16/ 16億円 交通事故減少便益：0.2/ 0.2億円)
	(残事業)		基準年：平成17年
感度分析の結果			
事業の効果等 円滑なモビリティの確保（現道等の年間渋滞損失時間の3.7割削減） 無電柱化による美しい町並みの形成（電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり） 他8項目 関係する地方公共団体等の意見			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 H12年12月の姫路バイパス及び太子龍野バイパスの無料化前後で交通量に変化はなく、依然として混雑しており、慢性的な渋滞の解消が急務である。 夢前橋を通過する12時間交通量：20,473台(H12.11調査) 21,752台(H16.10調査)			
事業の進捗状況、残事業の内容等 H3年度に事業着手し、H10年6月に夢前橋を含む約0.2kmを暫定供用 H17年4月に夢前橋西詰～下手野東交差点間の約1.0kmを4車線（完成）供用 城見橋（JR跨線橋）は、H19年度完成に向けて㈱JR西日本に委託している。			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 H18年度までに用地買収を完了する予定であり、H20年度完成に向けた円滑な事業執行が可能である。			
施設の構造や工法の変更等			
対応方針			
対応方針決定の理由 事業の必要性は事業採択当時と何ら変わっておらず、事業完了の見込みも立っていることから、継続して事業を実施する必要がある。			
事業概要図			
			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。